

# 大野重勇さんと「今日の日はさようなら」大研究

## (その最終回)

金子詔一

「今日の日はさようなら」の誕生に大きな影響を与えた、大野重勇さんの教えとは？

大野重勇さんは、青年達にいったい何を問いかけ、何を教えたか？

その重要な教えを、ひとくちに言えば――、  
先立つものは金ではない――と言う教えでした。

これは、私たち青年達にとっては、大きな励まし、勇気の源となりました。

なぜなら、青年達はみな、私を含めてポケットにお金がほとんどなかったからです。

知識も経験も十分でない、技術も未熟でしたが、

おまけにお金もないし、恋人もいないのです。

いや、お金がないから、恋人がいないのだと、お金のせいにしていました？

この発想を根本から、ひっくり返したのが大野重勇大兄でした。

先立つものはお金？

“まずはお金”という考え方を疑ってみようという訳です。

お金は出さなくていいから、手を出せ、口を出せ、

知恵を出せ、優しい気持ちを出せ、夢を出せ、

そうすれば、そのうちに“人”も“お金”も集まってくる。

湧き出て来る！！――と言うのです。

大野さんは元祖“社会起業家”だったので。

うかつにも、僕らはその口車にポイと乗って、

夢の中をさまよい歩き出しました。

お金の意味、お金の力、お金の法則など、

とりあえず全部棚上げして、

ひたすら、優しさとか尊厳とか、

宇宙や世界のしくみとか、

大それたことを考えはじめました。

まるで、どこかの危ない宗教団体みたいですよ。

考えるととっても、実は考えるための知識も技術も十分でないため

他人から見たら、ただの青くさい文学青年みたいだったかもしれません。

大野さんは、青年たちのお手本になるために、  
背水の陣、だとか言って、

まず自ら、お役所を退出してしまいました。

これには、青年達もビックリして、

“ついていけぬくな！”

——と言う感じでした。

それでも、相当に煮詰まっていたから、

なんでも、やってみるしかないじゃないか・・・と、

歩き出した訳です。

高名な起業家、松下幸之助が、

“やってみなはれ！”

と言っているのと同じです。

やってみて、失敗して、学習していけばいいじゃん！

底抜けに楽天的に、

まずは動いてみるという発想でした。

どうみても、大野さんは危ういリーダーの

典型だったのです。

腹が減ってきて、

ヤミ米を食べないで死んでいった裁判官の話し等しながら、

歌を歌ってごまかしていました、

お腹は正直で、グーと鳴らして反抗していました。

どうしても、お金のことを考えざるを得なくなると、

募金とか、お金持ちからの寄付とか・・・、

天からお金が降ってくる方法を色々想像しはじめました。

世の中の人は、どうやってお金をつくって、

やりたいことを実現していくのだろう——？

青年達は動いてみて、行き詰ってみて・・・、

やっとなんとか経営に関心を持ち始めました。

当時、学生達が、ダンスパーティーで

活動資金を獲得するように、

お金はどうやって作るものか、

やれることはみな、

はじから試してみました。

そして、大失敗を繰り返して、

やっとなんとか自転車の乗り方を覚えるように、

多少の擦り傷と引き換えに、少しずつ、世渡りを体感学習していきました。まあ、最初の月から、

給料は、ちゃんと振り込まれるものと決まっている会社員の安定した生活とはかけはなれた大冒険でしたが、

僕の場合は、ドン・キホーテみたいだいつも笑いものでした。

今日で言えば、ビルゲイツやスティーブジョブスの

ガレージ研究所のようなものだと言いたいのですが、

どこかマヌケな冒険家でした。

今日では、そういうアドベンチャーを体験させてくれる

大先輩は数少なくなってしまうましたが、大野さんは、

当時だって、非常に珍しいリーダーだったのです。

危うい橋をいくつも渡りながら、

私達の中に宿る火事場のバカ力の大実験を続ける青春物語は、

すべて大野重男さんの脚本だったのです。

題して、

“先だつものは金じゃネェ、”

まずは、人の心を集めてこい！

七転八倒する青年達をしり目に

人の心を集めたのは、

なんとポニーだったというオチは、みなさんご存じのとおりです。

※大野さんが創立したハーモニーセンターは、現在では「非営利、公益法人」として

募金や寄付を公に募ることのできる信用ある団体です。

50年の歳月を経て確立した信用です。

その透明性を維持、堅持してきた多くの人々のことに思いを寄せています。

現在は、ポニークラブと言ってもいいほど、ポニー中心の活動のようです。

詳細は、ホームページを参照して下さい。↓ [harmonycenter.or.jp](http://harmonycenter.or.jp)

※今回の大研究は、この辺でいったん打ち止めです。

※「今日の日はさようなら大研究」

バックナンバー（その1、その2、その3）ご希望の方は、

担当 Email: [kotani@fifa2400.com](mailto:kotani@fifa2400.com) または

FAX : 055-993-1091 井ばいり連絡下さい。